

1 農業マップ



【夏秋トマト】
 冷涼な気候を活かした美味しいトマトが生産されている。鳥取県型低コストハウスの有効利用、販売対策等を積極的に行っている。
 平成27年には、「日南トマト」の地域団体商標が登録された。
 新たに平成23年5名、平成24年1名、平成26年1名、平成27年2名、平成29年1名の農業研修生が、研修を終えて栽培に参入している。
 (日南町)



【ブロッコリー】
 県内西部産地のリレー出荷の中で冷涼な気候を活かし、比較的高温期の出荷が期待されている。



【夏秋ピーマン】
 冷涼な気候を活かし、夏秋ピーマンの栽培が行われている。



【日南高原朝どれ野菜生産部】
 少量多品目の新鮮な野菜や山菜を持ち寄り、岡山県方面のスーパーマーケットに直送している。



【日野郡の米】
 日野川の清流とお米づくりに適した気候を利用して、日野郡全体でおいしいお米を生産している。特別栽培などの取組が盛んで、各地のお米コンテストの受賞や都市部で一定の評価を得るなど、生産者の活動は活発である。
 (日野郡全域)

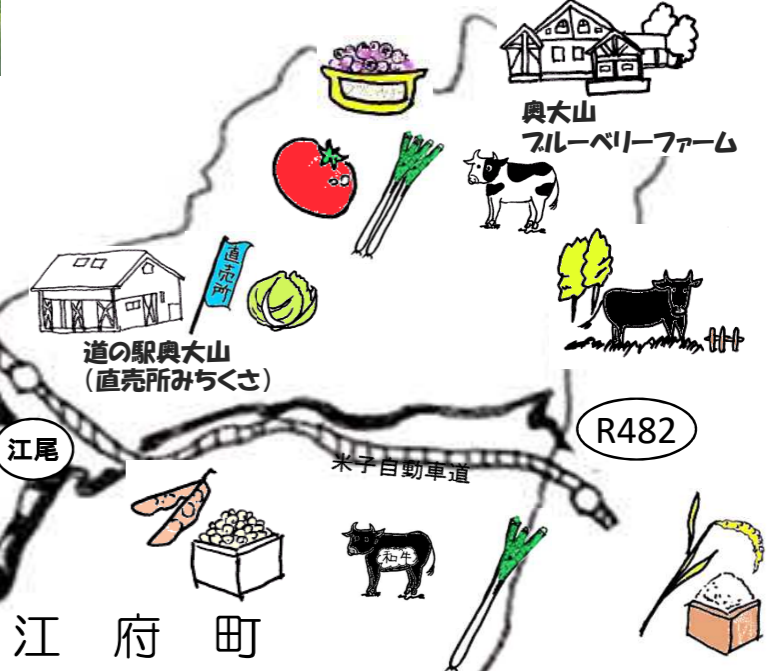


【直売所から始まる地域活動】
 学校給食への農産物供給など、地産地消活動の拠点となっている。
 (江府町 みちくさ館)

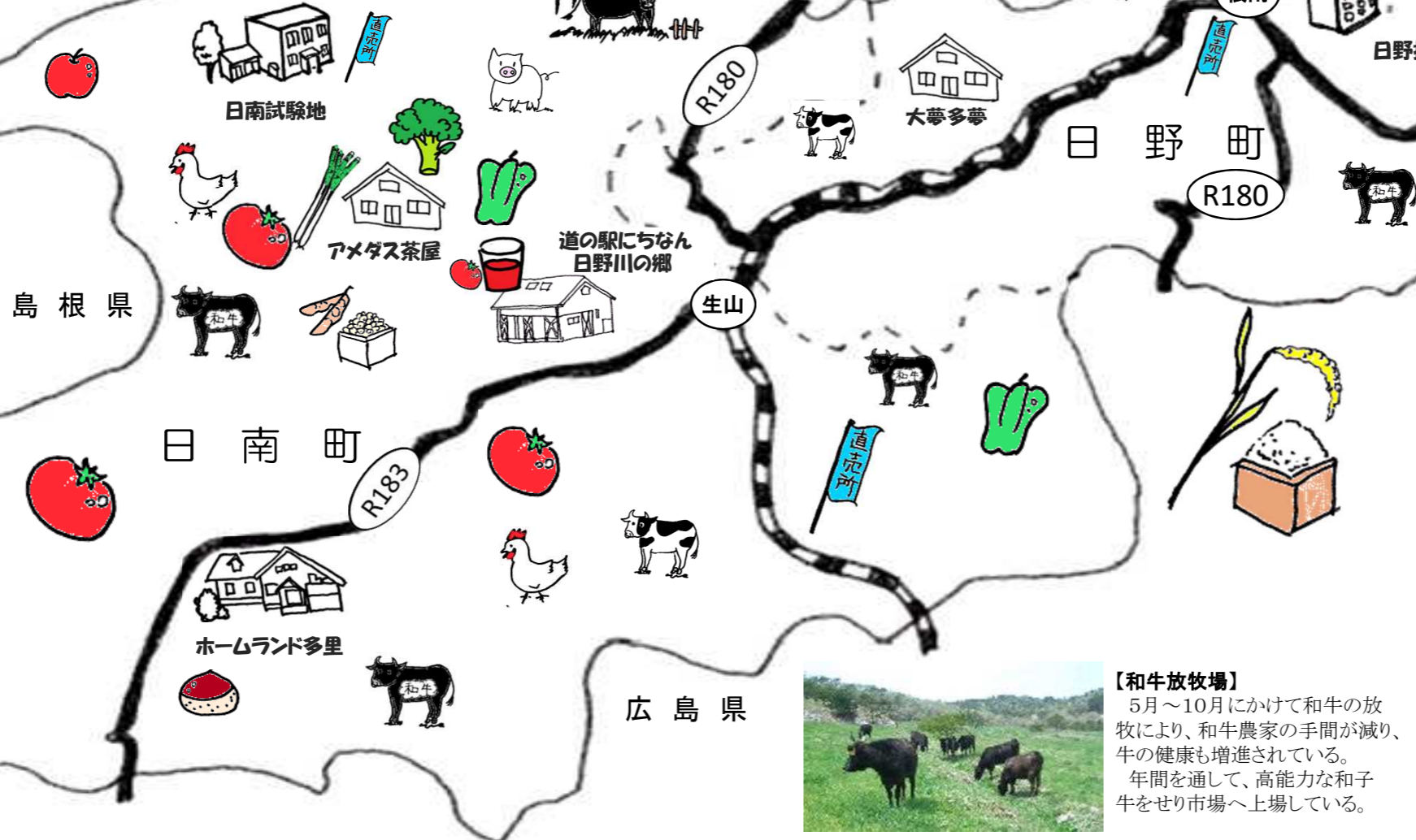
【そば】
 郡内各地でそばの栽培が盛んに行われ、土地利用型作物として重要な位置けとなっている。
 (日野郡全域)



【奥大山ブルーベリーファーム】
 西日本でも最大規模の観光農園として知られ、6次産業化(農業者が加工品の関係・販売等をする)ことも進めている。(江府町 笠原地区)



【農業レストラン】
 アンテナショップおよび地域コミュニティの拠り所を目指している。
 (日南町 ホームランド多里、アメダス茶屋)



【白ネギ】
 冷涼な気候を活かした夏ネギ栽培がさかんである。
 栽培経験の浅い生産者を対象に栽培基礎講座を開催している。



【地域産物を活用した加工品開発】
 農産物の資源や伝統を活かした加工品づくりが盛んである。
 加工の目玉は鈴原糯(すずはらもち)。栽培しにくい品種だがモチ質は抜群！
 (日野町 大夢多夢)
 地域特産品のトマトを使ったトマトジュースは、定評あり！(日南町)



【和牛放牧場】
 5月～10月にかけて和牛の放牧により、和牛農家の手間が減り、牛の健康も増進されている。
 年間を通して、高能力な和子牛をせり市場へ上場している。